

宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱の一部を改正する要綱

宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成１３年４月１日施行）の一部を次のように改正する。

改 正 後 （ 新 ）	改 正 前 （ 旧 ）
宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱 第１条～第６条 （略） 第７条 （略） ２ （略） （１）～（７） （略） （削除） <u>（８）～（１１）</u> （略） ３ （略） 第８条～第１０条 （略） 別表１～別表２ （略） （削除） 別表３～別表４ （略） 様式－１～様式５－２ （略）	宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱 第１条～第６条 （略） 第７条 （略） ２ （略） （１）～（７） （略） （８） 施工体制事前提出方式（オープンプック方式）の適用緩和による入札において、県との請負契約の内容を下請負人によって施行する場合、別表２－１に掲げる書類及び工事費内訳書を提出し、発注者の承認を受けること。 （９）～（１２） （略） ３ （略） 第８条～第１０条 （略） 別表１～別表２ （略） 別表２－１ （略） 別表３～別表４ （略） 様式－１～様式５－２ （略）

附 則

この要綱は，令和７年４月１日から施行する。

改正後（新）	改正後（旧）										
(削除)	別表 2 - 1 <table><tr><th>名 称</th><th>様式</th><th>提出時期</th></tr><tr><td>一部下請負承認願</td><td>様式 - 2</td><td rowspan="3">下請負承認申請時</td></tr><tr><td>一部下請負確認書</td><td>様式 - 3 - 1</td></tr><tr><td>社会保険等加入確認書</td><td>様式 - 5 - 1</td></tr></table>	名 称	様式	提出時期	一部下請負承認願	様式 - 2	下請負承認申請時	一部下請負確認書	様式 - 3 - 1	社会保険等加入確認書	様式 - 5 - 1
名 称	様式	提出時期									
一部下請負承認願	様式 - 2	下請負承認申請時									
一部下請負確認書	様式 - 3 - 1										
社会保険等加入確認書	様式 - 5 - 1										

改正後（新）

（様式－4）

予定下請負人・予定下請金額の変更に関する理由書

年 月 日

宮城県知事（又は地方公署長） 殿

直接元請負人
住 所
商号又は名称
代 表 者 名

予定下請負人・予定下請金額に変更が生じるので、宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱第7条第2項の規定に基づき提出します。

工事番号	
工事名	
□予定下請負人の変更	①当初下請負人名：_____ ②変更下請負人名：_____ ③変更理由（該当□内にレを付す。） ☐当初予定していた一次下請負人が、当該工事の入札前その他の工事の元請負人又は下請負人になった。 ☐当初予定していた一次下請負人が、営業停止又は指名停止になった。 ☐当初予定していた一次下請負人の主任技術者が、事故等、不測の事態により配置できなくなった。 ☐現地調査の結果、施工方法の変更等、不測の事態を生じたため、当初予定していた一次下請負人との契約が困難となった。 ☐工事内容の変更に伴い、新たな工種の追加や工事数量の変更があり、当初予定していた一次下請負人以外の者への下請負の必要が生じた。 ☐その他（具体的な内容を下欄に記載）
□予定下請金額の変更	①当初下請予定額：_____円（消費税込金額） ②変更下請金額：_____円（消費税込金額） ③変更理由（該当□内にレを付す。） ☐工事費内訳書に記載した下請負の予定額に誤差があり、下請金額変更の必要が生じた。 ☐現地調査の結果、施工方法や工事数量の変更が生じた。 ☐工事内容の変更に伴い、新たな工種の追加や工事数量の変更があり、下請負の予定額を変更する必要が生じた。 ☐資材高騰などに伴い、下請負の予定額を変更する必要が生じた。 ☐その他（具体的な内容を下欄に記載）

改正後（旧）

（様式－4）

予定下請負人・予定下請金額の変更に関する理由書

年 月 日

宮城県知事（又は地方公署長） 殿

直接元請負人
住 所
商号又は名称
代 表 者 名

予定下請負人・予定下請金額に変更が生じるので、宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱第7条第2項の規定に基づき提出します。

工事番号	
工事名	
□予定下請負人の変更	①当初下請負人名：_____ ②変更下請負人名：_____ ③変更理由（該当□内にレを付す。） ☐当初予定していた一次下請負人が、当該工事の入札前その他の工事の元請負人又は下請負人になった。 ☐当初予定していた一次下請負人が、営業停止又は指名停止になった。 ☐当初予定していた一次下請負人の主任技術者が、事故等、不測の事態により配置できなくなった。 ☐現地調査の結果、施工方法の変更等、不測の事態を生じたため、当初予定していた一次下請負人との契約が困難となった。 ☐工事内容の変更に伴い、新たな工種の追加や工事数量の変更があり、当初予定していた一次下請負人以外の者への下請負の必要が生じた。 ☐その他（具体的な内容を下欄に記載）
□予定下請金額の変更	①当初下請予定額：_____円（消費税込金額） ②変更下請金額：_____円（消費税込金額） ③変更理由（該当□内にレを付す。） ☐工事費内訳書に記載した下請負の予定額に誤差があり、下請金額変更の必要が生じた。 ☐現地調査の結果、施工方法や工事数量の変更が生じた。 ☐工事内容の変更に伴い、新たな工種の追加や工事数量の変更があり、下請負の予定額を変更する必要が生じた。 ☐その他（具体的な内容を下欄に記載）

(削除)

※H25.9.1以降適用 オープンブック方式適用緩和による入札の場合

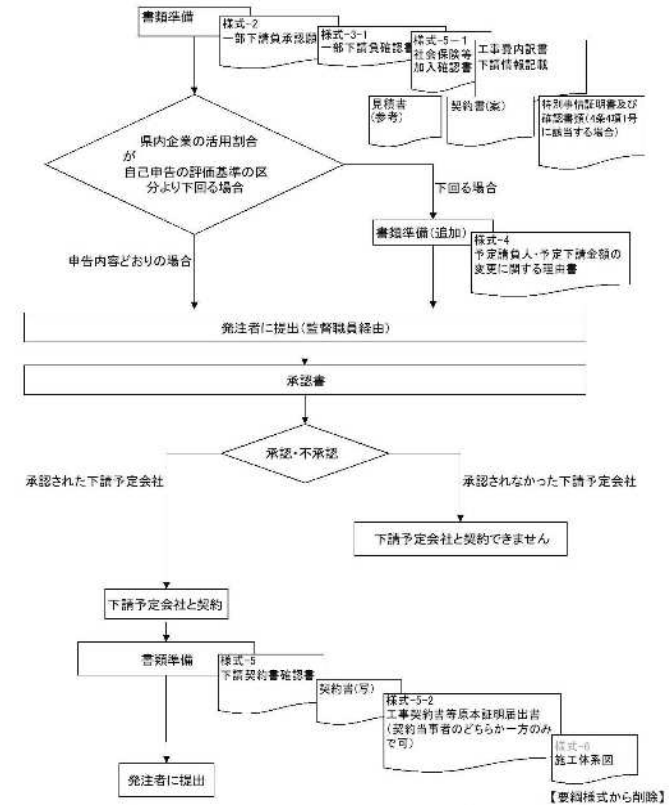
下請会社と契約する前後の処理フロー
※オープンブック適用緩和による入札の場合

<元請下請関係適正化要綱 参考資料2>

1 下請負指導責任者を定めたとき

<元請下請関係適正化要綱 参考資料1>のフローと同様です。

2 工事の内容の一部を下請負させたいとき(一次下請負会社)



3 新しい一次下請け会社を追加したいとき

4 二次以降の下請契約を締結・追加・変更したいとき

5 一次下請について承認後、内容に変更が生じたとき

<元請下請関係適正化要綱
参考資料1>のフローと同様
です。